PILLAR REPORT

第67期営業のご報告

平成26年4月1日から　平成27年3月31日まで

CONTENTS

株主の皆様へ …… 1
業績の概況 …… 2
日本ピラー工業について …… 3・4
事業別の概況（連結） …… 5
連結財務ハイライト …… 6
連結財務諸表 …… 7・8
株式情報 …… 9
会社情報 …… 10

日本ピラー工業株式会社

代表取締役社長

岩波清久

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

当社第67期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の営業のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

当社グループは、「お客様満足」が企業活動の原点であり、お客様から高い評価と信頼を得ることが持続的な成長と収益の実現を可能にし、それが企業価値の向上と株主の皆様をはじめ、さまざまなステークホルダーの皆様の満足につながるものと認識しております。

そのため、創業以来追求してきた「流体の漏れを止める技術」を基本技術とし、材料技術、設計技術、精密加工技術、評価技術などを活用して独創的で高品質な製品を提供し、省資源と安全でクリーンな地球環境づくりに貢献するとともにお客様にとってかけがえのない企業を目指すことを基本方針としております。

また、事業環境の変化に迅速に対応し、お客様の要望に応える新しい価値を提案・提供できる体制の構築を目指すとともに、国際競争力を備えた強固な経営体質を早期に創り上げ、法令や社会規範を順守し、公正で健全な企業活動に努め、良き企業市民として豊かな地域社会の発展に貢献することを目指しております。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申しあげます。

平成27年6月

経営理念

1. 住みよい地球と豊かな社会環境づくりに貢献します。
2. 独創的で高品質な製品を提供し、お客様にとってかけがえのない企業を目指します。
3. 法令・社会規範を順守し、公正で健全な企業活動を行います。

業績の概況

中期的な会社の経営戦略

当社は創業以来、「流体の漏れを止める技術」を基盤として産業界のさまざまなニーズから来る技術要請に対し、新製品・新技術の開発で応え、メカニカルシール、グランドパッキン、ガスケットなどお客様から信頼される高機能製品を提供してまいりました。また、これらの製品は電力、船舶、自動車からエレクトロニクスに至るまで幅広い分野で使用され、そこで培った材料技術、設計技術、加工技術などを活用し、半導体・液晶製造装置関連業界向けにふっ素樹脂製品を開発、提供しています。

産業機器分野向けシール製品は安定した業容と収益基盤を持つ基幹事業製品として位置づけ、技術競争力の向上に努めるとともに、流体制御関連機器市場における総合シールメーカーの強みを活かし、顧客ニーズの「専門性」「多様性」に対応した新たな製品やサービス展開を進めてまいります。また、グローバル化推進のために、海外における生産・販売・サービス拠点を拡充するなど、拡大する需要を積極的に取り込むよう組織を強化してまいります。

半導体・液晶製造装置関連業界向けふっ素樹脂製品は半導体・液晶市場の景気変動の影響を受けるものの、中長期的には成長分野と考えており、今後とも市場の変化に迅速に対応できる開発・生産体制を整え、新用途や新分野の開拓に取り組んでまいります。

さらに原価構成の見直しを進め、競争力のある原価を目指していくとともに、業務の標準化・効率化・スピード化を積極的に推進し、経営体質の強化に努めてまいります。

営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、年度前半において消費税増税の影響を受けやや停滞気味でありましたが、年度後半は個人消費が雇用・所得環境の改善を背景に底堅く推移し、設備投資も企業収益が改善するなか増加基調にあるなど、緩やかな回復が続いております。一方、世界経済は、中国経済の成長鈍化など一部に不安要素をかかえているものの、米国など先進国を中心に回復しています。

当社グループを取り巻く事業環境は、産業機器分野においては、国内需要が石油精製プラント統廃合などの影響もあり低調でしたが、海外需要は資源国を中心に拡大傾向にありました。また、電子機器分野においては、パソコン市場は低調でしたが、スマートフォン向けは成長が続き、全体としては底堅い動きとなりました。

このような環境のなか、当社グループは、拡大する海外需要を取り込むため海外拠点の設立や充実を行う一方、市場のニーズに沿った新製品の開発を進めるとともに、競争力強化のための原価低減活動にも着実に取り組んでまいりました。この結果、当連結会計年度の売上高は216億75百万円（前期比4.6%増）となり、利益面では、営業利益は32億26百万円（前期比10.9%増）、経常利益は34億47百万円（前期比13.7%増）、当期純利益につきましては、19億86百万円（前期比7.2%増）となりました。

対処すべき課題

次期の見通しにつきましては、世界経済は先進国を中心に緩やかな回復が続くと予想され、わが国経済も企業収益が改善傾向をたどり、雇用・所得環境の着実な改善が続くなか、景気は緩やかな回復基調を続けていくとみられます。しかし、新興国・資源国経済の動向、欧州における債務問題の展開や低インフレ長期化といったリスク要因があり、依然として先行きには不透明感が残る状況にあります。

このような状況のなか、産業機器分野向けシール製品は、海外拠点の拡充による営業活動の強化や新製品の投入により事業の拡大を図ってまいります。また、半導体・液晶製造装置関連業界向けピラフロン製品は新製品による需要の創出や新用途の開拓に努めるとともに、建築業界向け免震関連製品は拡大する市場に対し積極的に取り組んでまいります。加えて原価低減活動などの収益構造の改善を継続的に進めてまいります。

当社グループは、安定した業容の拡大を目指し、新市場の創造、新事業の早期確立や、常なるコスト削減に取り組んでおります。さらに、国内外の関係会社との連携を強化し、グループ収益力、コスト競争力を高めてまいります。新しい技術や高機能な製品、そして企業の未来までも、それを生み出すのは人の力であります。全体最適の発想で改革をリードする人材を育むことが重要であり、専門的な技術と広い視野を持ち、グローバルに活躍できる人づくりに努めてまいります。

高度なシール技術で暮らしの

産業機器関連事業

メカニカルシール製品

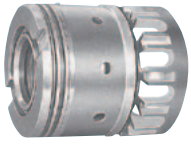
ピラーカセットシール®
(カートリッジタイプ)

初心者でも取り付けが簡単。シール面にはナイフエッジ構造を採用し、プラントの信頼性向上や省エネ、省力化に貢献します。

ピラーG1シール
(Type G1)

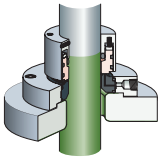
特殊なU字形ゴムを使用し、柔軟性に富んだ構造。取り扱いも容易で、軸の振れ・偏心の多い低速回転機器に適しています。

遊動環タイプメカニカルシール(Type JAB)



左右がほぼ対称なカーボン製遊動環を使用。高速・高圧で圧力変動の大きい条件下でも、安定したシール性を発揮します。

ピラーノンメタル PEC®シール



シールの摩擦粉が発生しないため、撹拌機の内部をクリーンに維持。動力が少なく、長寿命・省エネ・広域速度対応などが特徴です。

グランドパッキン・ガスケット製品

ピラーフォイル®
(低トルクパッキンシリーズ)

独自の製法で補強した膨張黒鉛を組み込み優れたシール性能を実現。環境改善に役立ちます。

ピラーテクノブラック® ガスケット(No.2603-EEE)

広い温度範囲で長期にわたり安定したシール性能を発揮。経済的で幅広い流体に適用が可能です。

ピラーEDP® パッキン(No.6710+No.6617)

高気密性が求められる国際規格基準に適合。基本性能に加え、パッキン内部を透過するガスをも制御し、環境負荷の軽減に貢献します。

クリーンサニタリーヘルールガスケット(No.3356)

優れたシール性と耐食性を持ち、シリコーンゴムでの変質・劣化の問題改善が可能。PTEF100%のシートを成型加工しており、クリーンです。

発展に貢献するピラー製品。

電子機器関連事業

半導体・液晶関連製品

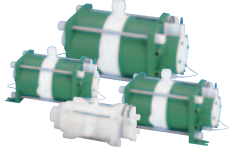
スーパー300タイプ ピラーフィッティング®

ふっ素樹脂継手のデファクトスタンダード。安全性・耐熱性・クリーン度に加え、多様な配管サイズへの適用性を兼ね備えています。

ピラー PC-CLAD®

独自の成形技術により厚さやバラツキを最小限に抑えた高周波対応のふっ素樹脂基盤。さまざまな機器に最適な基盤をご提供します。

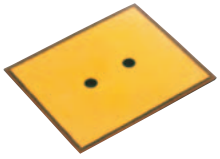
スペラ300 ベローズポンプ®



ポンプ単体で低脈圧を実現し、よりスムーズな液体の流れを可能に。ダンパーの別途設置が不要で、コンパクトな配管設計にも貢献します。

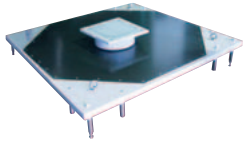
建築向け免震製品

ピラーフロロゴールド (No.4801)



ピラフロンと金属板を強固に接合。地震・風・温度変化などで生じた建物の変位を低摩擦ですべらせることで吸収・軽減します。

剛すべり支承



エレベーターなどの軽量構築物の下に設置することで免震システムをより効果的にすることができます。

当社は1924年（大正13年）の創業以来、「流体の漏れを止める技術」を基盤に、独自のノウハウを数多く生み出し、業界を長らくリードしてまいりました。

現在ではふたつの主要な事業を中心に製品づくりを行い、お客様から高い信頼を得ております。ひとつは「産業機器関連事業」。危険度の高い薬液・ガスなどの流体を制御するための「メカニカルシール製品」、配管・機器の接合部分やバルブ・ポンプの軸封部からの流体の漏れを制御する「グランドパッキン・ガスケット製品」を扱います。

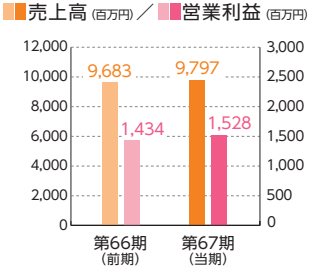
もうひとつは「電子機器関連事業」。スマートフォンやPCの半導体・液晶を製造する装置産業向けの「ふっ素樹脂製品」、建築産業向けの「免震製品」を扱います。

これら多くの製品は、幅広い分野で活躍し、高機能製品として重要な役割を果たしております。

今後も、長年の経験で磨かれた高度な技術力と最先端の素材開発力で、新しい市場の開拓を目指し、省資源と安全でクリーンな地球環境づくりに貢献し続けてまいります。

事業別の概況（連結）

産業機器関連事業（シール関連製品）

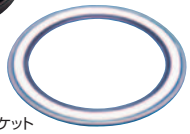


メカニカルシール製品は、船舶および海外プラント向け受注の増加を受け全体としては堅調に推移しました。また、グランドパッキン・ガスケット製品は、国内向けが伸び悩むなか、海外向けが好調に推移したため、ほぼ前年並みとなりました。

この結果、産業機器関連事業の売上高は97億97百万円（前期比1.2%増）、営業利益は15億28百万円（前期比6.5%増）となりました。

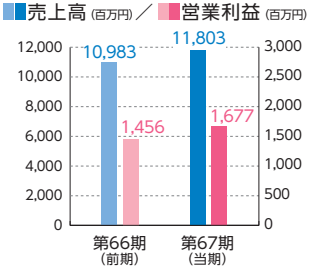
ピラーEDP®パッキン

PEC®シール


うず巻形ガスケット

ピラー
カセットシール®

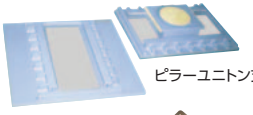
電子機器関連事業（樹脂関連製品）

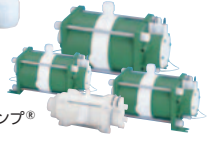


半導体・液晶製造装置関連業界向けピラフロン製品は半導体市況が底堅い動きをみせ、また、建築業界向け免震関連製品が高水準の建設投資を背景に順調に推移しました。

この結果、電子機器関連事業の売上高は118億3百万円（前期比7.5%増）、営業利益は16億77百万円（前期比15.2%増）となりました。

スーパー300タイプ
ピラーフィッティング®


ピラーユニトン支承


スペラ300
ベローズポンプ®

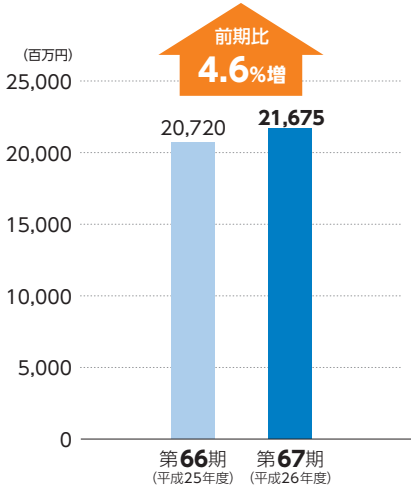
ピラーPC-CLAD®

その他部門（不動産賃貸等）

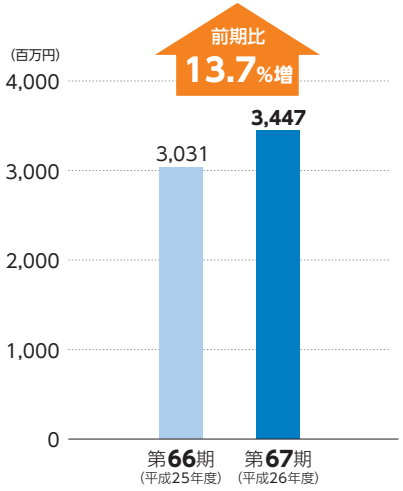
その他部門の売上高は74百万円（前期比37.3%増）、営業利益は14百万円（前期比1.8%減）となりました。

連結財務ハイライト

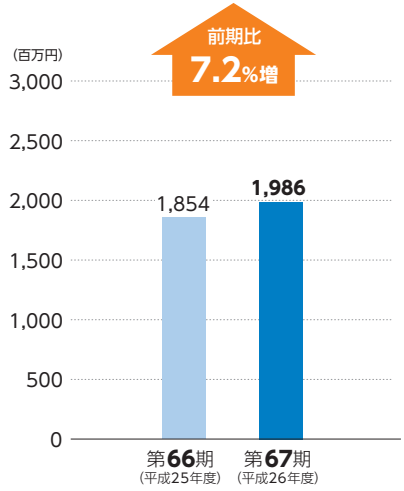
売上高



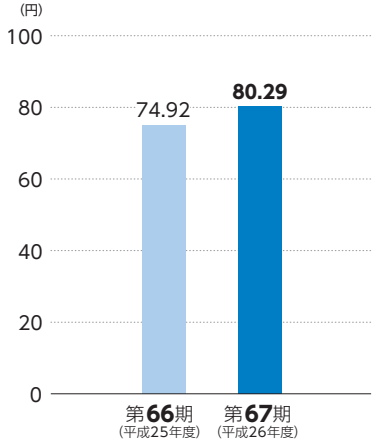
経常利益



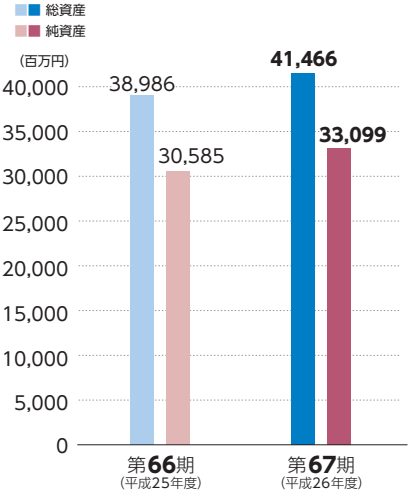
当期純利益



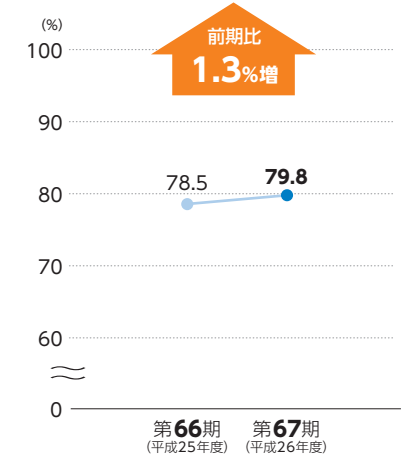
1株当たり当期純利益



総資産・純資産



自己資本比率



連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

◎総資産

414億円

前期比 6.4%増

◎自己資本

330億円

前期比 8.2%増

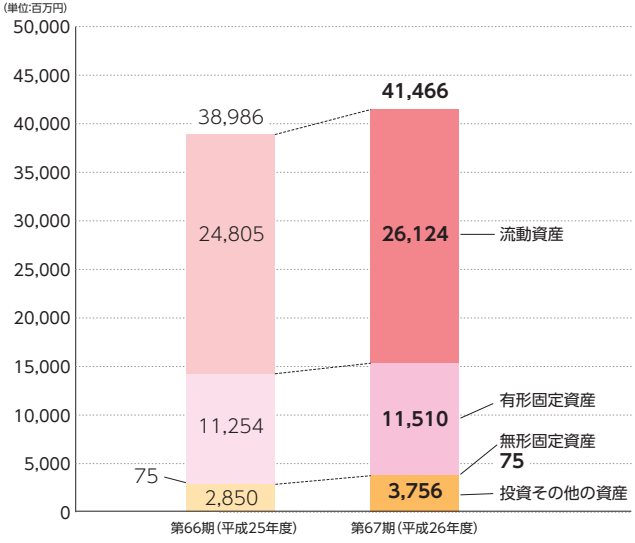
(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 平成26年3月31日現在	当連結会計年度 平成27年3月31日現在
■資産の部		
流動資産	24,805	26,124
固定資産	14,180	15,342
有形固定資産	11,254	11,510
無形固定資産	75	75
投資その他の資産	2,850	3,756
資産合計	38,986	41,466

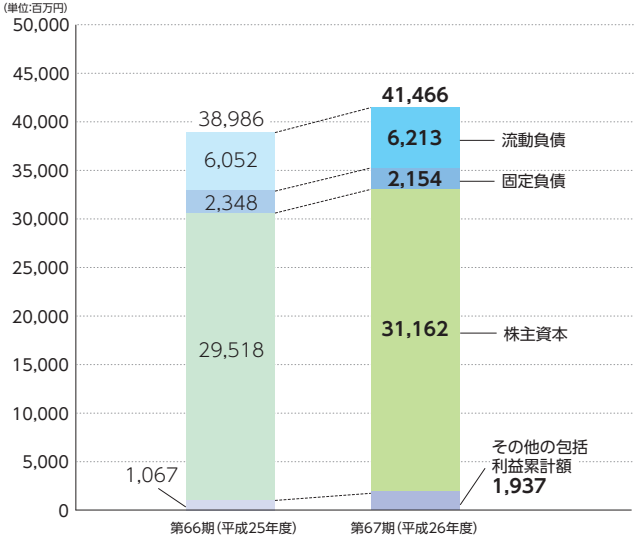
科目	前連結会計年度 平成26年3月31日現在	当連結会計年度 平成27年3月31日現在
■負債の部		
流動負債	6,052	6,213
固定負債	2,348	2,154
負債合計	8,400	8,367
■純資産の部		
株主資本	29,518	31,162
その他の包括利益累計額	1,067	1,937
純資産合計	30,585	33,099
負債純資産合計	38,986	41,466

(記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。)

<資産の部>



<負債・純資産の部>



連結損益計算書（要旨）

◎売上高

216億円

前期比 **4.6%増**

◎経常利益

34億円

前期比 **13.7%増**

（単位：百万円）

科　　目	前連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	当連結会計年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売　上　高	20,720	21,675
売上原価	13,955	14,457
売上総利益	6,765	7,217
販売費及び一般管理費	3,856	3,991
営業利益	2,908	3,226
営業外収益	152	237
営業外費用	30	16
経常利益	3,031	3,447
特別利益	—	14
特別損失	—	337
税金等調整前当期純利益	3,031	3,124
法人税、住民税及び事業税	1,210	1,062
法人税等調整額	△33	74
少数株主損益調整前当期純利益	1,854	1,986
当期純利益	1,854	1,986

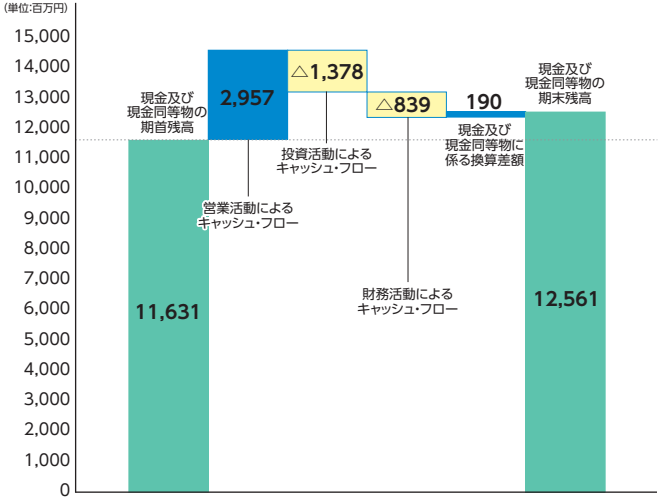
（記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。）

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　　目	前連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	当連結会計年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,429	2,957
投資活動によるキャッシュ・フロー	△927	△1,378
財務活動によるキャッシュ・フロー	△505	△839
現金及び現金同等物に係る換算差額	225	190
現金及び現金同等物の増減額	2,222	929
現金及び現金同等物の期首残高	9,409	11,631
現金及び現金同等物の期末残高	11,631	12,561

（記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。）



■ 連結の範囲および持分法の適用

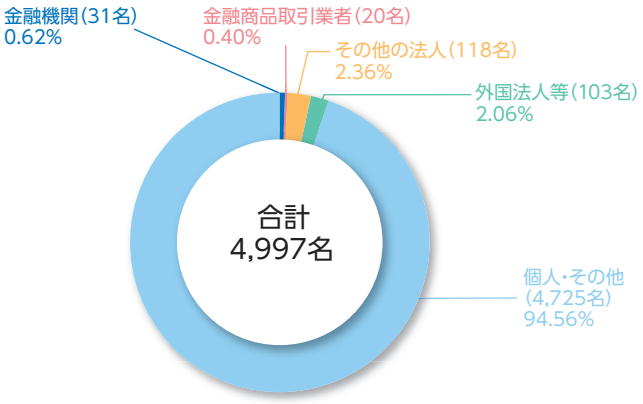
国内　ピラーサービス販売(株)　中部ピラーサービス販売(株)　東京ピラー(株)　北陸ピラー(株)　ピラーエンジニアリングサービス(株)　関東ピラーエンジニアリングサービス(株)　山陽ピラーエンジニアリングサービス(株)　日高精工(株)　エヌピイ工業(株)　日本ピラー九州(株)※1　エヌピイ産業(株)※1　ピラーテクノ(株)※1

海外　日本ピラーシンガポール(株)　台湾ピラー工業(株)　日本ピラーアメリカ(株)　蘇州ピラー工業有限公司　上海ピラートレーディング有限公司※1　韓国ピラー工業(株)※2

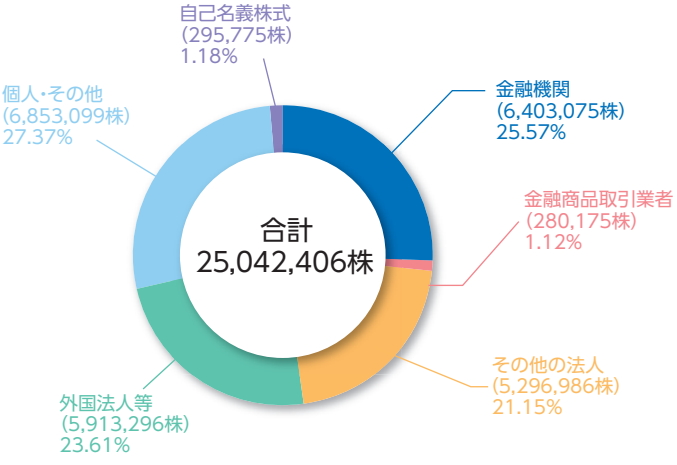
(注) 無印:連結子会社　※1:非連結子会社で持分法非適用会社　※2:関連会社で持分法非適用会社

株式情報（平成27年3月31日現在）

所有者別株主分布



所有者別株式分布



株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	25,042,406株
株主数	4,997名

大株主

株主名	所有株式数（千株）	持株比率（%）
KBL EPB ORDINARY ACCOUNT 107501	1,188	4.80
日本ピラー工業取引先持株会	1,113	4.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,096	4.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,024	4.14
有限会社ロックウェーブ	1,020	4.12
岩波　清久	718	2.90
明治安田生命保険相互会社	700	2.83
株式会社みずほ銀行	692	2.80
株式会社三井住友銀行	692	2.80
ダイキン工業株式会社	400	1.62

※持株比率は、自己株式数（295,775株）を控除して計算しております。

会社情報

会社概要 (平成27年3月31日現在)

商号	日本ピラー工業株式会社 NIPPON PILLAR PACKING CO.,LTD.
本社	大阪市淀川区野中南2丁目11番48号
創業	1924年(大正13年)
代表者	代表取締役社長　岩波　清久
資本金	49億66百万円
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
従業員数	475名
事業内容	メカニカルシール、グランドパッキン・ガスケット、 ピラフロン製品(ふっ素樹脂製品)等 流体制御関連機器製品の製造販売
ホームページアドレス	http://www.pillar.co.jp/

取締役・監査役および執行役員 (平成27年6月24日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	岩波　清久	常務執行役員	清水　正夫
取締役 専務執行役員	大岩　輝雄	常務執行役員	勝見　僚一
取締役 常務執行役員	大﨑　眞仁	常務執行役員	星川　郁生
取締役 常務執行役員	岩波　嘉信	執行役員	後藤　幸生
取締役 執行役員	宿南　克彦	執行役員	山内　定光
取締役	中川　威雄*	執行役員	藤﨑　和寛
取締役	永田　武全*	執行役員	川本　裕久
常勤監査役	神田　孝三	執行役員	大宮　潤治
監査役	門屋　明**		
監査役	森　恵一**		

* 取締役 中川 威雄、永田 武全の両氏は、社外取締役であります。
** 監査役 門屋 明、森 恵一の両氏は、社外監査役であります。

主要事業所 (平成27年3月31日現在)

本社	〒532-0022 大阪府大阪市淀川区野中南2-11-48 TEL(06)6305-1781
三田工場	〒669-1333 兵庫県三田市下内神字打場541-1 TEL(079)567-2121
福知山事業所	〒620-0853 京都府福知山市長田野町2-66-3 TEL(0773)27-7871
九州工場	〒861-1116 熊本県合志市福原1-25 TEL(096)292-4524
東京支店	〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-2(富国生命ビル) TEL(03)3508-1611
横浜支店	〒231-0012 神奈川県横浜市中区相生町6-113(桜木町ANビル) TEL(045)201-1361
名古屋支店	〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜1-4-13(アイ高岳ビル) TEL(052)962-7861
京都支店	〒600-8482 京都府京都市下京区堀川通綾小路下ル綾堀川町293-1(堀川通四条ビル) TEL(075)353-4335
大阪支店	〒532-0022 大阪府大阪市淀川区野中南2-11-48 TEL(06)6302-5201
神戸支店	〒673-0898 兵庫県明石市樽屋町1-29(日工住友生命ビル) TEL(078)914-6654
広島支店	〒732-0827 広島県広島市南区稲荷町4-1(住友生命広島ビル) TEL(082)568-2541
九州支店	〒861-1116 熊本県合志市福原1-25 TEL(096)292-4511

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	6月
配当金受領株主確定日	期末配当金　3月31日 中間配当金　9月30日
公告方法	電子公告をもって行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 ホームページアドレス http://www.pillar.co.jp/
単元株式数	100株
証券コード	6490
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777（通話料無料）

【ご注意】

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）では、お取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

株主優待制度の導入について

この度、株主様の日頃のご支援に感謝いたしまして、「株主優待制度」を導入することとなりました。
当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々に当社株式を中長期的に保有していただければ幸いです。

概　要

○対象となる株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された当社株式100株（1単元）以上を保有されている株主様。

○株主優待の内容

対象となる株主様に対して、クオカード1,000円分を贈呈。

保有株式数	100株以上
優待品の内容	QUOカード（クオカード）　1,000円分

○贈呈の時期

定時株主総会終了後の6月下旬の発送を予定。

開始時期

平成27年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された当社株式100株（1単元）以上を保有されている株主様を対象として開始いたします。

ご案内

少額投資非課税制度口座（NISA口座）における配当金のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座で所有される場合、配当金につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当金を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要がございます。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

UD FONT